

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	成人期に到達した先天性大動脈疾患の検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 心臓血管外科 准教授 打田俊司
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2026 年 12 月 31 日
対象となる方	当院で CoA, IAA の診断名が付いた 2025 年 4 月 1 日時点で 20 歳を超えた患者さん。
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	先天性心疾患は治療成績の向上により、術後成人期症例が増加しています。先天性大動脈疾患は大動脈縮窄症(CoA)、大動脈弓離断症(IAA)が代表的疾患で、単独病変と複合疾患を有する症例があります。これまでに手術介入の有無での術後遠隔の経過を検討した研究はなく、今後増加する本疾患、特に術後症例の遠隔期での病態を明らかにしようと思っています。 当院で CoA, IAA の診断名が付いた 2025 年 4 月 1 日時点で 20 歳を超えた患者さんを対象とします。これらの症例のうち診療経過が明確な症例を抽出し診療録を基に、既往治療の有無、治療法、遠隔期治療介入の有無、並存病変、遠隔期発症疾患などを含めた予後を、これまでの診療で行った胸部レントゲン検査、心電図、心臓超音波検査、血液生化学検査、血圧脈波検査 (ABI)、CT、MRI を用いて検討します。
個人情報の保護	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直

について	接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院心臓血管外科 打田俊司 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089－960－5331